

学校教育目標			
1. 幅広い教養と専門的な知識・技術を身につけ、地域に貢献できる人材の育成 2. 豊かな人間性と創造力を持ち、主体性ある人間を育てる 3. いじめ・体罰・セクハラを起こさない安全・安心な学校作り			
今年度 重点目標		1 商業高校の特色を活かした教育活動の充実 【ビジネス探究教育の推進】 2 地域と連携し地域に貢献できる教育活動の推進 【地域人教育・HOTAKAの推進】 3 いじめ・体罰・セクハラを起こさない安心・安全な学校づくり 【信頼・信用から安心・安全な学校づくりの推進】	
分掌	活動目標	評価項目	評価の観点
総務	・学校全体の円滑な運営を行う ・開かれた学校づくりを推進する ・中学1・2年生対象の公開授業を行う ・学校評価により教育活動の充実を図る	・日常的業務の遂行 ・緊急時の備え ・情報アプリの活用 ・内規の見直し ・次年度年間行事予定表作成 ・開かれた学校づくりに関わる業務の円滑な遂行 ・学校評価の実施・集約・対応	・関係部署との連絡を密にし、各種行事等を円滑に遂行するための援助ができたか。 ・緊急時の備えを年度当初に完備し、活用できたか。 ・生徒・保護者・職員への情報発信が迅速かつ的確に行えたか。 ・内規の運用上の問題点の洗出しと修正が的確にできたか。 ・授業時数確保と、反省を活かした年間行事予定表が作成できたか。 ・地域に対して本校の教育活動に関する情報をきちんと伝えられたか。 ・学校関係者評価を計画的に実施し、その結果を教育活動に活かしたか。
生徒指導	1. 人権・人格の尊重に基づく指導 2. 自主的・民主的な資質と行動力の育成 3. 日常生活に即した社会性の養成	生徒一人ひとりの尊厳を重視し、従来の「管理型指導」から「対話型指導」への転換 学校生活の当事者としての意識を高めるため、意思決定プロセスを生徒に開放 社会で生き抜くための「実学的な資質」を日常の指導に組み込む	校則違反等の指導に際し、即座に否定するのではなく、丁寧なヒアリングによる「適正手続き」を徹底。教員側も丁寧な言葉遣いを徹底し、生徒が萎縮せず本音を語れる心理的安全性を構築したか。 穂商祭等の学校行事において、教員の役割を「支援・助言」に限定し、生徒会にある程度の企画・運営を委任。また、校則の是非について議論する場を設け、民主的なルール形成のプロセスを経験させたか。 クラス内の合意形成において「対話による妥協点の模索」を指導。また、SNSトラブルや校内ルールを通じ、「権利と義務」の相関関係（リーガルマインド）を具体例に基づき指導した。時間管理の面でも、部活動や学習の過度な拘束を避け、自律的なワークライフバランスの設計を促したか。
生徒会	・自ら考え自ら行動できる主体性を育て、生徒が活きる活動を支援する。 ・全校生徒を巻き込んだ生徒会活動を心がけ、それをリードする役員にはリーダーとしての自覚形成を促す。	・自主性を育てる指導 ・委員会活動の充実 ・他校生徒会との交流 ・地域との交流	・生徒自らの企画・運営について適切な助言・指導ができたか。 ・日常的活動がスムーズに行えるように助言・指導ができたか。 ・行事や委員会活動の根本的な意味や意義を考え実行できたか。 ・他校生徒会執行部などと交流の場を設けられたか。 ・穂高及び学校周辺の地域と交流の場を設けられたか。

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点
進路指導	・生徒一人ひとりが社会を広く知り、社会との関わりの中で自己を確立し、社会で生きる基礎的な力を養う。 ・家庭との連携を緊密にとりながら、生徒一人ひとりの進路意識の向上を図り、生徒が将来の職業選択へのきっかけをつかむ機会にする。 ・生徒一人ひとりの進路実現に向けて、きめ細かく丁寧な進路指導を行うと同時に、専門課程高校の特色を活かした進路指導の充実を図る。	・進路指導上必要と思われる情報の収集・管理・提供。 ・生徒の自主的な進路選択が可能となるような情報の提供。 ・生徒一人ひとりに対する万全のサポート体制。 ・専門課程高校の特色を活かした進路指導の研究実践。	・関係諸団体との連携を図りつつ、進路指導上必要な情報収集・情報提供を行うことができたか。また適切な情報管理がなされたか。 ・大学・短期大学・専門学校の教育内容や公開授業、選抜方法等に関する情報を生徒や教員に適切に提供することができたか。 ・各事業所の求人情報を迅速に収集し、受験希望企業の決定に有意性のある情報を生徒や教員に適切に提供することができたか。 ・生徒の進路希望状況を学年スタッフと共有し、進路実現のための協働的なサポート体制を構築することができたか。 ・日本学生支援機構予約奨学金の推薦業務を適切に進めることができたか。 ・専門課程高校の進路指導方法の研究・実践を行うことができたか。
人権・図書・視聴覚	・「人間」を尊重し、相互に思いやる心を育てる。 ・「平和」と「公正」を愛し、民主的な社会の建設に積極的に関わっていくことのできる人間の育成を図る。 ・生徒の教科学習の充実のため、また各個人の知的興味や感性を高めるために図書館資料の整備・充実を図る。 ・職員の教科指導等に役立つように、館内の環境や図書資料の整備を図る。 ・生徒の利用指導及び読書指導の充実を図る。 ・図書委員活動の自主的・積極的活動を促す。 ・視聴覚機材を通して学習への意欲・関心を高める。 ・芸術鑑賞を楽しみ、感性と感覚を高める。	・人権についての知的理解を深め、不当な差別や矛盾に気づく力。 ・思いやりの心や連帯感、人権を大切にする精神。 ・平和的・民主的な手続きによる問題解決。 ・希望図書を把握し、資料の充実・整備につとめる。 ・教科指導に役立つ資料を整備・提供し、授業での図書館利用を促進する。 ・定期的な情報を発信し、図書館利用を促す。 ・図書委員の活動や読書旬間中の行事企画の充実。 ・さまざまな視聴覚機材を利用する。 ・芸術鑑賞行事の円滑な運営	・身近にある様々な事例から不当な差別や社会的矛盾に気づく力がついたか。 ・思いやりの心や連帯感が身についたか。人権を大切にする態度が身についたか。 ・平和的・民主的な手続きによる問題解決ができるようになったか。 ・館内整備を計画的に行えたか。 ・資料の収集、整理が適切に行えたか。 ・授業で図書館は積極的に利用されたか。 ・来館者数、本の貸し出し数等、活発に利用されたか。 ・マナーを守って利用できたか。 ・図書委員の活動は、計画的に行えたか。 ・視聴覚機材の使用により興味・関心は高まったか。 ・芸術鑑賞行事が、生徒の情操を涵養することができたか。

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点
保健指導	・感染症対策をとりながら学校行事を行う。 ・けがや疾病を早期に発見し応急処置を行う。 ・健康相談活動を支援室と連携を取りながら実施する。 ・生徒保健講話の充実。	・定期健康診断の実施 ・応急処置の実施 ・健康相談活動の実施 ・保健講話の実施	・感染症対策をとりながら学校行事を実施できたか。 ・けがや疾病の応急処置を実施できたか。 ・健康相談活動を校内の連携をとりながら実施できたか。 ・保健講話を実施できたか。
清 整 ・ 防 災	・地域に貢献できる学校づくりのため、学校周辺の美化活動に努める。 ・心を育む時間大切に、掃除を通し「気づき力」を学ぶ。 ・日々「美しい環境」で過ごす習慣を身につける。 ・落ち着いて授業に集中できる環境づくりを目指す。 ・見えないところで頑張る！「掃除から心育み成長へと導く」	・「自ら行う環境整備」美化活動実施の提案 ・文化祭でのごみ箱設置回収処理清掃活動 ・日常の清掃活動の取組状況 ・ゴミの分別状況 ・大掃除の徹底 ・清整作業当番活動	・日々美しい学校環境を維持できる活動ができたか。 ・学習環境の美化に貢献できたか。 ・「大切に使う」「きれいにする」環境・設備への、生徒意識を向上育てられたか ・「掃除時間」決められた作業一人ひとりが責任を持ち自ら取り組めたか ・日常のゴミの分別が適切に行われているか。 ・委員自ら自主的に考え計画行動に移せたか
	・防火・防災計画書の作成 ・日頃から災害非常時における意識の喚起と高揚 ・避難等の周知徹底 ・防災・避難訓練の計画と実施 ・冬期ストーブの安全管理	・避難対策 ・安全(生命)確保 ・正しい消火器使用	・生徒、職員共に非常時における対応など意識の高まりは見られたか。 ・避難訓練、消火器の実技訓練等を通じ、生徒職員の防災意識の向上が計られたか ・冬期のストーブ使用が正しく安全に行われたか。
同窓会	・会員相互の親睦 ・母校の発展と地域社会の文化の向上発展に貢献する。	・同窓会諸行事の充実 5月 同窓会理事会及び同窓会総会 5・8・10月 穂商あづみ野会ゴルフコンペ 10月 同窓会支部対抗親善マレットゴルフ大会 3月 同窓会入会式 ・同窓会報の発行など	・同窓会諸行事・諸活動が充実して会員相互の親睦が深まったか。 ・同窓会活動の見直し改革が行われ活性化がされたか。

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点
生徒支援	・要支援生徒に関する情報を把握し、職員、スクールカウンセラー（ＳＣ）、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）との連携を図る。 ・年２回のアセス、生徒支援面談などを通して、生徒理解・支援ならびにいじめ等の早期発見を図る。	・年２回、長期休み後等に生徒支援面談を計画的に実施し、生徒の状況把握に努める。 ・要支援生徒への適切な支援が行えるよう、情報共有や特別支援教育に関する研修等を計画的に行う。 ・欠席が長期にわたる生徒に関する協議を行う。 ・クラス担任等と連携し、ＳＣ、ＳＳＷを状況に応じて適切に活用していく。	・生徒支援面談を計画的かつ有効に実施できたか。 ・各部署と連携をとりながら適切に生徒支援が行えたか。 ・ＳＣ、ＳＳＷの活用は適切かつ十分であったか。 ・諸活動を通して、安心安全な学校作りに寄与できたか。
教育課程	・次年度科目選択調査の実施と講座数の調整 ・新学習指導要領における学習評価の研究	・教育課程編成 ・生徒が適切な科目を選択できるガイダンスの実施、講座数の検討と調整 ・学習評価の妥当性や信頼性	・本校の教育課程編成・実施方針（ＣＰ）に即した教育課程であるか。 ・生徒一人ひとりの進路希望や興味・関心に繋がる科目選択となっているか。 ・生徒、保護者に学習評価の方針が共有できたか。
再編 い・穂 員商 会 の み ら	・学校教育目標、３つの方針、グランドデザインをベースに新しい学校創設のビジョンを具現化していく。 ・学校再編による新たな学校の在り方や方向性について研究する。	・学校再編、高校教育改革 ・教育内容や行事等の精選	・中長期的なビジョンの確立と職員のコンセンサスは得られたか。 ・各部署と連携し学校再編を見据えた協議ができたか。
商業科	・これからのビジネスに必要な資質能力を育成する。 ・３年間のビジネス探究教育により、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・産学官連携学習の充実を図り、ビジネスを探究する学びを実現する。	・目標達成のための授業展開及びその改善がなされているか ・ビジネス探究２年時および課題研究などで外部機関と連携し、充実した学びの実践が実現できているか。	・教員が探究できていたか ・探究する学びを提供できていたか ・授業改善、評価の改善ができたか

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点
3 学 年	・生徒一人ひとりが希望する進路を実現できるよう指導・支援する。 ・基本的生活習慣の確立と良識ある社会人・成人として力を備えて卒業できるように指導・支援する。 ・行事や生徒会活動を通して活動的なクラス・学年集団作りをする。	・生徒一人ひとりの進路実現にむけた支援と自主性の涵養。 ・個々の人間関係に気を配るだけでなく、地域の課題、人権などの社会の課題にまで関心が持てるように指導・支援する。 ・最上級生として、生徒会行事やクラブ活動、学習活動においてリーダーシップをとり、主体的に行動できるように指導・支援する。	・適切な資料・機会を準備して面談などを重ね、寄り添いながら生徒の自主的な進路研究を促し、希望する進路を実現させることができたか。 ・生徒の状況を把握し、支援、働きかけが適切にできたか。 ・生徒の興味関心に応じて、社会への関心を高められたか。 ・下級生の行動に配慮しながら、自分たちが満足できる行事を企画運営できるよう適切な指導ができたか。 ・様々な場面で自主性を促すような指導・助言ができたか。
2 学 年	・学校における基本的生活習慣を身につけ、落ち着いた生活基盤の上に授業に向かう姿勢を昨年度以上に向上させる。 ・将来を見据えた進路実現をめざして、適切な進路指導を行う。 ・2年生としての立場を理解し、生徒会、修学旅行など各種学校行事へ積極的に参加できるようにする。	・日常生活の様子、諸行事に対する姿勢や行動。 ・日常の授業へ向かう姿勢。 ・提出物の状況。 ・将来の仕事、就職、進学を意識した基礎学力の向上と資格取得。 ・適切な目標設定と適切な3年次の科目選択。 ・クラス、学年、クラブ、委員会などの活動の中で様々な人と関わり、コミュニケーションをとりながら行動する。 ・穂商祭や穂商フェア、修学旅行に積極的に参加し行事を成功させる。	・生徒理解、生徒への指導、働きかけが適切にできたか、生徒の意識を高められたか。 ・適切な資料、機会を準備し、働きかけができたか。 ・コースごとの目標に沿って、生徒の目標に合わせた学習指導ができたか。 ・さまざまな場面で適切な指導ができたか。 ・生徒の微妙な変化に気がつき、対応できたか。 ・適切な働きかけ、機会の提供ができたか。
1 学 年	・穂高商業高校生としての基本的生活習慣・学習習慣を身につけさせる。 ・生徒が希望する進路実現をめざして、計画的な進路指導を行う。自己を理解し、自分の将来の目標に向かって努力できるようにする。 ・生徒が安心かつ安全に学校生活を送り、適切な人間関係が構築できるようにする。	・校則や時間、提出期限等を守る意識の育成。 ・他者の話を傾聴する態度の育成。 ・授業や資格取得に対する主体的な取り組みの促進。 ・自己を理解し、進路を意識した科目選択や資格取得への主体的な取り組み。 ・情報収集・進路ガイダンス等への目的意識を持った積極的参加。 ・学級、学年、部活動、委員会などさまざまな活動への意欲的・積極的な参加。 ・情報モラルの向上。 ・自発的な健康管理や衛生観念の向上	・常に生徒やクラスの状況を把握して、SHRや面談などを通して、適切な指導を行うことができたか。保護者との連携はできたか。 ・朝学習を計画的に実施できたか。 ・商業科と連携して、検定取得に取り組ませることができたか。 ・進路学習やキャリア学習の機会や資料を準備し、計画的に働きかけができたか。 ・キャリアパスポートを用いて定期的に学校生活を振り返り、自己理解、進路への意識を高めることができたか。 ・生徒の状況を把握するための有効な個人面談が実施できたか。また、把握した状況に対して適切な対応ができたか。 ・スマートフォンやタブレットの利用における指導は適切であったか。 ・健康や衛生に関する意識を向上できたか。